

当園ではこの度、2024年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は子供たちの無限の可能性を伸ばすために、その人格形成の基礎となる大切な幼児期を、のびのびと明るく楽しく、すくすくと元気に、また、心優しく情操豊かに過ごせるよう、さまざまな経験や活動を実践しています。

II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 安全管理体制の充実
- 家庭との協力・連携
- サービスの向上

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	評価	取組み状況
1	教職員の資質向上	絵本や紙芝居の読み聞かせや音楽活動 [歌唱・リズム遊び]のリードを若手からベテランまで均等に機会が当たるようにしている。	A	毎日行っているお部屋での絵本の読み聞かせを通して子どもたちが文字に興味を持ち、自力で読めるようになっている。音楽活動にも力を入れ、全学年での合同朝礼ではどの保育者も順にリードし、その結果として、集中力や聞く力、想像力など様々な面を育むことができている。
2	安全管理体制の充実	施設・設備の安全確保や防災・防犯対策を日頃から実施。また交通安全・防災・防犯教室の実施により、子どもたち・保護者と一緒に学ぶ機会を設ける。	A	防災教室・防犯教室・交通安全教室では、専門家の話を聞くことによって災害対応など考える機会が増えたことにより、事前準備に取り掛かるきっかけとなっている。またバス置き去りに関しては、チェックリストを使い情報共有することが徹底することができている。
3	家庭との協力・連携	園での様子や家庭での様子を共有するために連絡ノートや電話なども活用しつつ、可能な限り直接コミュニケーションをとる。 感染症対応マニュアル等の共有、緊急時の連絡体制の更なる強化を図る。	A	従来通り、連絡ノートや電話も使って保護者と密な連絡をとる。毎行事で子どもの普段の様子を見てもらうなどして、保護者に安心してもらえるように意識している。また学年での情報共有も意識的に実施している。
4	サービスの向上	保護者からの多様なニーズに対応できるよう、更に幼稚園全体のレベルアップにつながるように、日頃から教職員間のコミュニケーションを大切にしている。	A	より良い教育を提供するために、日頃より職員間のコミュニケーションは重視している。学年を越えて、全体で共有することも意識し、更なる向上に努めていきたい。

【評価の基準】	
S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	保育者としての知識・技術をさらに向上できるよう、毎日の保育を通して課題を見つけ克服・レベルアップできるように努めていきたい。
2	安全管理体制の充実	安全対策・緊急時対応を日頃より意識して取り組みたい。
3	家庭との協力・連携	保護者との積極的なコミュニケーションを取り、園長先生だけでなく学年でもしっかり情報の共有を行うことを園全体で徹底していきたい。
4	サービスの向上	多様なニーズに対応するとともに、職員間の連携を深めて1つ1つの課題に取り組んでいきたい。

V. 学校関係者の評価

〈学校関係者①〉	家の中で過ごす時間が増えている子どもが多い中、広い園庭でたくさん身体を動かすことによって、心身共に大きく成長することができていると思う。また、とても優しい子どもたちが多くいるように感じられる。
〈学校関係者②〉	日頃の習慣・意識により、挨拶がしっかりできている。来園者に対しても気持ちの良い挨拶ができているので、これからも継続してほしい。
〈学校関係者③〉	手洗いうがい指導の徹底・実践により、季節性の感染症が感染拡大しにくい環境を作っている。子どもたちの健康管理にも力を注ぎ、これからも健やかな成長ができる環境であってほしい。
〈学校関係者④〉	質の高い教育を提供するために、日頃より保育者が常に向上心をもち続けている。子どもたちが様々な体験ができる環境が整備されているので、この機会を損なわないように更なる目標をもって保育に取り組むよう願っている。
〈学校関係者⑤〉	防災教育に力を注ぎ、災害の恐ろしさや、地震が起きた時にどうすればいいか、子どもたちが考える機会を設けている。守口幼稚園の子どもは自分の身を守るなど安全安心の生活の基礎を養っていると思う。
〈学校関係者⑥〉	あえてタブレットやデジタルから遠ざけて子ども自身の五感を使う保育内容に徹していることは大変魅力的である。幼児期に自分で触れ・実際に見ることの大切さをこれからも保育を通じて提供してしてほしい。
〈学校関係者⑦〉	保育者のチームプレー・連携が素晴らしいと思う。在園生だけではなく卒園生や保護者との信頼関係も強いと感じることができる。